

CHIBA UNIVERSITY REPOSITORY  
CURATOR

TeaPot

YNU-R

横浜国立大学  
学術情報リポジトリ

DRF

Special thanks:平成24年度DRF機関リポジトリ新任担当者研修「広報・コンテンツ収集」コマ担当  
永井一樹氏 (兵庫教育大学)  
菊池美紀氏 (聖学院大学)  
山田奈々氏 (青森県立保健大学)



## 広報・コンテンツ収集

2014年8月5日  
森いづみ (お茶の水女子大学)  
mori.izumi@ocha.ac.jp

1

## なぜ、広報営業活動か？

- 広報・営業は余力のあるところがやるもの。
- 登録だけで精一杯。
- なんでしなくちゃいけないの…？

ちょっと、待って！



- 知ってもらわないと、始まらない。
- 自然に集まれば、苦勞も減るはず。
- 助けてもらう、協力してもらうためにも広報を！

2

## 広報営業活動のポイント

### Contents

集める→集まる。

### Connect

人とサービスをつなげる。

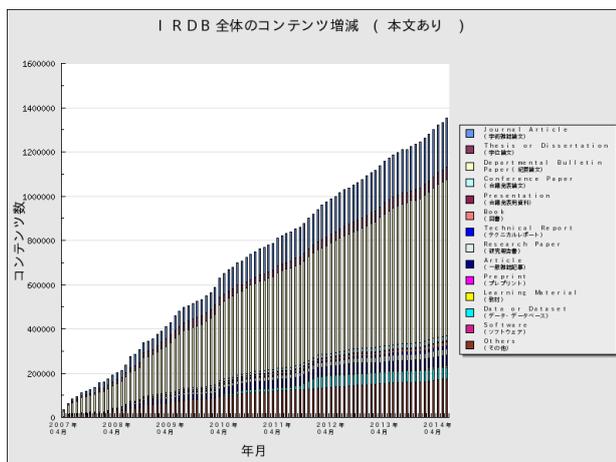
### Customer

顧客を作る営業力。

3

## まず、現状を把握しよう

日本のリポジトリのコンテンツ数：140万件弱



• IRDBコンテンツ分析システム (2014.6)  
<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>

• CiNiiのコンテンツ数：  
 約1,700万件、本文ありは約400万件 (2014.8)

• CiNiiとIR (論文系※のみ) のコンテンツ数は、  
 CiNii : IR = 4 : 1  
 • 一大勢力 (?)

4

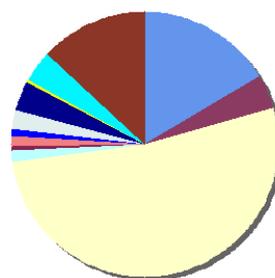
※ IRの論文系コンテンツ : Journal Article, Departmental Bulletin Paper, Article

## まず、現状を把握しよう

### 日本のリポジトリのコンテンツ種類

#### 資源タイプ別コンテンツ数内訳(割合)

Journal Article(学術雑誌論文)	220,378 (16.3%)
Thesis or Dissertation(学位論文)	56,275 (4.2%)
Departmental Bulletin Paper(紀要論文)	706,174 (52.2%)
Conference Paper(会議発表論文)	21,706 (1.6%)
Presentation(会議発表用資料)	5,486 (0.4%)
Book(図書)	19,003 (1.4%)
Technical Report(テクニカルレポート)	12,133 (0.9%)
Research Paper(研究報告書)	30,387 (2.2%)
Article(一般雑誌記事)	48,587 (3.6%)
Preprint(プレプリント)	365 (0.0%)
Learning Material(教材)	3,926 (0.3%)
Data or Dataset(データ・データベース)	52,415 (3.9%)
Software(ソフトウェア)	28 (0.0%)
Others(その他)	175,361 (13.0%)
合計	1,352,224

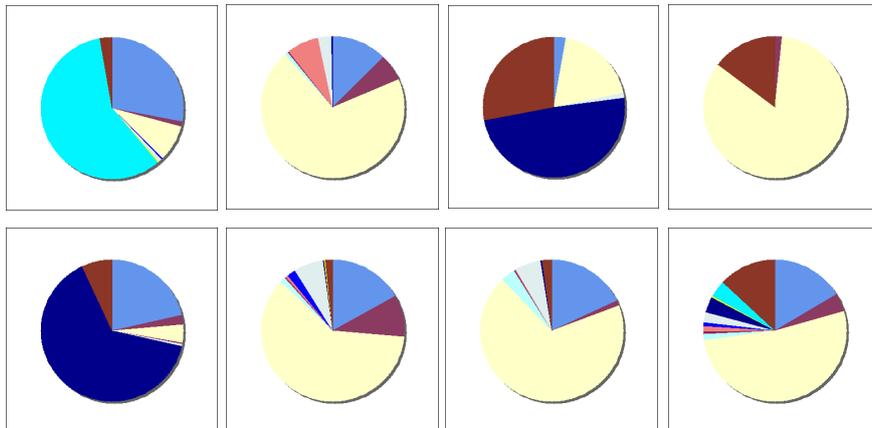


- 圧倒的に紀要論文が多い
- 国内の教育研究成果数の分布とはかなり違っていそう

5

## まず、現状を把握しよう

### 本日の研修参加機関のリポジトリのコンテンツ種類

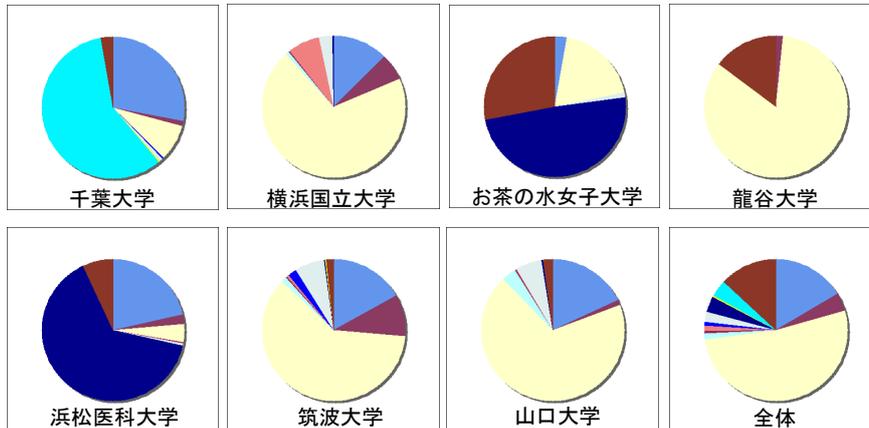


- 機関によって特色がある→狙った特色? それとも結果?
- 大学の教育研究成果数との兼ね合いは?

6

## まず、現状を把握しよう

本日の研修参加機関のリポジトリのコンテンツ種類



星薬科大学、  
東京藝術大学  
はこれから

- ・ 良いとか悪いとかではなく、まず現状を把握すること
- ・ そして、広報には戦略と戦術が必要

7

## そこで、質問

### ● 皆さまに、事前調査のお願いをしました

－所属機関の研究・教育成果の基礎情報

- ・ 年間発表論文数（海外ジャーナル／国内ジャーナル）
- ・ 博士学位授与数（公開数／非公開数・やむをえない事由の状況）
- ・ 科研費等競争的資金の獲得数（種類ごとの数や獲得金額）

- ・ リポジトリのコンテンツ数と比較すると、捕捉状況がわかる
- ・ （紀要以外の）捕捉率はかなり低そう
- ・ 博士学位論文は、本来100%になるはずだが・・・
- ・ 大学の教育研究成果数の分布ともかなり違っていそう

－教員データベースの有無（公開している事項／論文情報があるか等）

－教育コンテンツの公開の有無

- ・ 戦略：大学の強みは何？ リポジトリで魅せたいコンテンツは？  
リポジトリの機能（オープンアクセス、成果公開）のうち、何をどう活用して、何を実現する？
- ・ 戦術：そのコンテンツを集めるには？ → 「3つのC」

8

# Contents

集める → 集まる。

9

## コンテンツの2タイプ

	学術雑誌論文(個別モノ)	学内コンテンツ(一括モノ)
代表的なコンテンツの例	学術雑誌論文、 学会発表資料、...	研究紀要、学位論文、 科研報告書、...
性格	所属研究者の研究成果	機関としての活動成果
出自	外で刊行	大学が刊行
対象物	そもそも把握しづらい	把握しやすい
アタック先	個々の教員	編集委、教授会など
収集範囲	教員の手元にしかない。過去のも のはあまり残っていないので、目標 をカレント分に絞らざるを得ない	初号から最新分まで組織的に。バックナ ンバーは刊行元か、あるいは書庫所蔵 分のスキャンも。あとはアイデア次第
コストと効率	主として人的コスト。 がんばってがんばってがんばって やっと少しずつ集まる	主としてスキャン経費。 電子化の主体的意志をうまく喚起してIR 事業と接続し、作業ベースに落とす
IRの持続性への 意義	教員ひとりひとりのIRへの理解と支 持は事業継続の土台	いったん開拓できれば安定的なコンテン ツ流入ルートに
いずれも	コンテンツの持ち主との <b>対話、プロモーション</b> がすべて	

10

## 紀要論文

← バックナンバー

新規分 →

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 著作権 = 編集委員会 の場合           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 編集委員会の許諾が得られればバックナンバーを一括登録</li> </ul> </li> <li>■ 著作権 = 著者 の場合           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 著者ひとりひとりに許諾確認</li> <li>・ オプトアウト式一括許諾事例（異議があったら申し出てね）</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 交渉先：編集委員会           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿規定の改訂を依頼</li> <li>ーリポジトリでの公開を明記</li> </ul> </li> <li>・ 印刷仕様書の改訂を依頼</li> <li>ー印刷業者からPDF納品</li> <li>・ 紀要の電子ジャーナル化</li> </ul> |
|---|--|

11

## 著作権委譲の一括許諾例（駒澤大学）

### 駒澤大学への著作権委譲について

#### 告示

1. 平成14年以前の駒澤大学の各種研究紀要及び各種論集に掲載の論文のいわゆる著作権は、平成20年4月1日以降、駒澤大学に委譲されたものとする。
2. ここでいう著作権とは、具体的には以下の通りとする。
  - ① 本学及び本学が認めた者が当該論文を電子版に掲載・複製するなど学術情報として利用すること
  - ② 本学が当該論文の複製物を公衆送信ないし公に伝達すること
  - ③ 複製物を公衆へ譲渡すること
  - ④ 複製物を公衆へ貸与すること
  - ⑤ これらの行為によって収入が発生する場合には、駒澤大学または学内の学会等の運営費用に充当すること
3. 以上の処置について、平成19年4月1日より平成20年3月31日まで、現在過去の本学専任教職員および兼任教職員ならびにご遺族に対し、文書及びホームページにて周知する。
4. 以上の処置について了承できない方・異議のある方は、この期間内に申し出ること。申し出のない場合は、上記の処置について了承し、著作権を駒澤大学に譲渡したものと扱う。
5. 本公告を知る機会がなかったとの理由で、期限後に申し出た方については、改めて協議に応じる。
6. 連絡先：駒澤大学図書館(03-3418-9151)、教務部(03-3418-9104)

平成19年4月1日  
駒澤大学 学長 池田練太郎

12

## 印刷仕様書例

(兵庫教育大学)

請負業者は、編集作業終了後の目次及び投稿者毎の論文について電子データを作成し、電子媒体により別途納入するものとする。電子データのファイル形式はPDFとし、OCR処理された透明テキストデータを付与すること。OCR処理は、多言語(日本語・英語)に対応していること。なお、予め指定されたカラー写真等については、冊子体及び抜刷が白黒印刷であってもカラーにより作成すること。

13

## 投稿規定の改訂例

(兵庫教育大学)

### 8. 著作権等

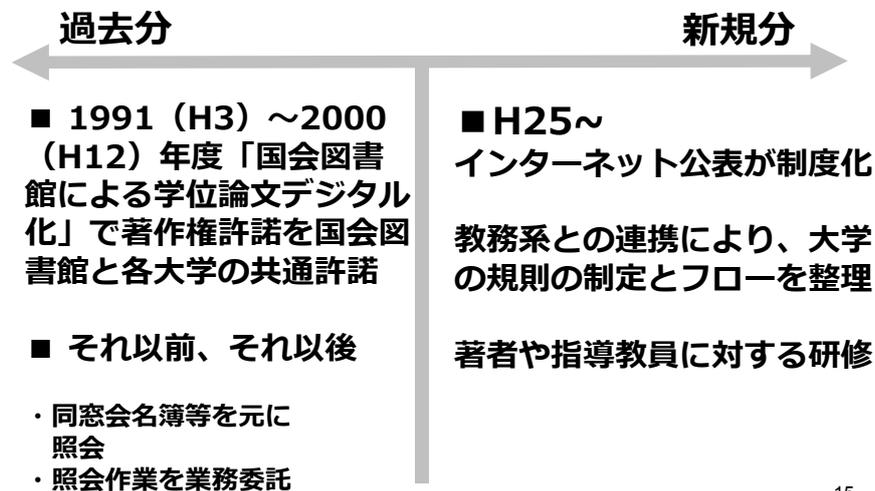
(1) 論文の内容は著者が責任を負うものとし、編集委員会の意見により修正を行った場合も同様とする。

(2) 論文の著作権は著者に属するものとするが、**編集委員会は著者から個別に同意または許諾を得ることなく、その領布のために複製、媒体変換及び公衆送信することができるものとする。**また、委員会の判断により各種の文献データベースに論文の全文又は一部が登載されることがある。

9. 掲載された論文は、下記の研究科論文集ホームページ、及び兵庫教育大学学術情報リポジトリ(HEART)において公開する。

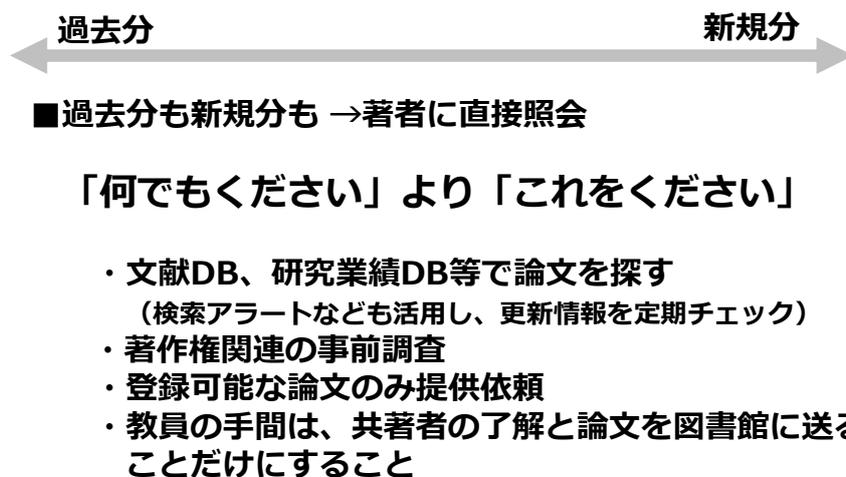
14

## 博士学位論文



15

## 雑誌論文



16

# Connect

人とサービスをつなげる。

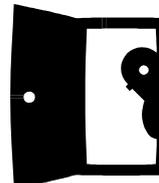
17

## Connect : それが広報の魅力

「図書館」では開かなかった扉が、「リポジトリ」なら開く…かも?!

「リポジトリ」からはじめる

図書館広報!



- ・ 図書館活動の広がりを、多くの人へ伝える。
- ・ いままで会話をしなかった先生と会話する。
- ・ 他部署と連携する。

18

## 広報媒体のいろいろ

---

- オフライン
  - ノベルティ・グッズ
  - ちらし、ポスター、POP
  - 広報誌、ニュースレター
- オンライン
  - メール
  - ホームページ、ウィキ、ブログ
  - Facebook、Twitter、Youtube

19

## ノベルティ・グッズ

---

- まずは、アイコンの決定  
(マスコットキャラクター、ロゴマーク)
- グッズの選定  
(誰に配りたいか、何を宣伝したいか)
- グッズ例  
クリアファイル、付箋、携帯ストラップ、メモ帳、しおり、エコバック、タンブラー、うちわ、シャーペン、消しゴム、ポケットティッシュ、マウスパッド、缶バッジ、傘、ポストカード  
etc

20



缶バッジ (北海道大学)



うちわ・タンブラー (筑波大学)





# ブログ



コンテンツ収集状況等をブログで逐次報告（東京歯科大学）

27

# Facebook



附属図書館fbページでリポジトリの話も（小樽商科大学）

28

## Twitter

**Kobe Univ. Kernel**  
@kobekernel  
神戸大学附属図書館電子図書館係です。研究成果リポジトリKernel/富  
災文庫/新聞記事文庫/キク料の染色体数DB ... and more!  
神戸 <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/dai>

1,366 ツイート  
1,160 フォロワー  
1,183 フォロワー

**Kobe Univ. Kernelさんをフォロー**

名前  
メールアドレス  
パスワード  
アカウントをお持ちですか? ログインする。  
新規登録

**ツイート**

神戸大学大学院経営学研究科・経営学部 @bkobeu 7月13日  
「博士課程前期課程(推薦入試) 秋期」「博士後期課程(特別推薦入  
試)」入試募集要項を公開しました b.kobe-  
u.ac.jp/info/news/2012... #入試  
Kobe Univ. Kernelさんがリツイート  
聞く

Kobe Univ. Kernel @kobekernel 7月13日  
今日は何の日... 2004.7.13 平成16年7月新潟・福島豪雨 今日のデジ  
タルアーカイブ... Kernel 自然災害後の被災者再建支援に関する研究  
/大西一嘉他/神戸大学都市安全研究センター研究報告/2006  
bit.ly/OBXK4V ◆8年前の同じ日に水害が起きました  
聞く

国立国会図書館関西館図書館協力課 @ca\_tweet 7月11日  
E1310 - 大学図書館に広がる電子書籍のPatron-Driven Acquisitions |  
オーストラリアのアラバマ州の大学図書館の事例  
聞く

29

リポジトリ含む電子図書館サービス関連のツイート (神戸大学)

## イベントのいろいろ

### － 説明会

- － 教授会の前・後・中に。
- － 図書館運営委員会の余白に。
- － カフェ形式で気軽に。
- － LCでワークショップ的に。

### － OAW (オープンアクセスウィーク)

－ 2012.10.22～28

30

6 オープンアクセスフォーラム  
2011.10.24-30

# 旭医の新しい“風”

第1回ジャムセッション ～図書館サイエンスカフェ

## 10月26日(水)18時～於図書館



**肝移植**

**古川博之**  
教授



**心臓・血管**

**長谷部直幸**  
教授



**リハビリ**

**大田哲生**  
教授

図書館入口ホールで開催！  
各分野の最前線を走る本学の先生方が、それぞれの  
研究内容や最新の取組みを、楽しく、語ります。  
カフェのような気楽な雰囲気、普段聞けないこと質問しちゃいましょう。  
学生・院生・教職員・事務職員のたくさんの参加をお待ちします。

### うちの先生ってスゴイんだぜ




**サイエンスカフェ**  
(旭川医科大学)



# OAW



33

テーマカラーの衣装に身を包むスタッフ (大阪大学)

# 海外のOAWイベント



▲Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technologyの野外劇

▼George Mason Universityのメイソン像・・・



34

## 他部署との連携

- 教員が研究業績を登録するとき本文ももらっちゃおう
  - 業績データベース(研究系・人事系)との連携
- 学位論文はインターネット公表が制度化 規程の改訂
  - 教務系との連携
- 申請時から布石をうつ。科研費等外部資金による研究成果
  - 研究系・総務系との連携
- メディアを賑わす論文にもアンテナを
  - 広報系との連携 - 大学のHPにリンク

35

## 成果論文のBarrel公開を謳う

基盤C (一般) - 5

今回の研究計画を実施するに当たっての準備状況及び研究成果を社会・国民に発信する方法

本欄には、次の点について、焦点を絞り、具体的に明確に記述してください。

- ① 本研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ② 研究分担者がいる場合には、その者との連絡調整状況など、研究者手に向けての状況（連携研究者及び研究協力者がいる場合についても必要に応じて記述してください。）
- ③ 本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

**記述例**

..... 本研究に基づくすべての発表論文を、研究代表者の所属する大学の機関リポジトリ（小樽商科大学 Barrel）を通じて、市民・研究者を含むすべての公衆に公開し、社会への成果還元につとめる。また、版権の都合上、オンライン公開に差し支えのある論文は所属大学附属図書館に集約し、利用に供する。.....

36

科研費申請時から布石を打つ（小樽商科大学）

# Customer

顧客を作る営業力。

37

## Customer : 顧客が居てこそ

– 誰のためのリポジトリか？

顧客の利点を訴える！

OA = 研究成果を研究者の手に。

灰色文献（報告書など）へのアクセス向上

保存 = 研究成果を失わないために。

公開 = 研究成果をより多くの人へ。

（視認性の向上）

機関としての情報公開。



38

## 営業活動のいろいろ

---

- 研究者インタビュー
- 研究室訪問（御用聞き）
- ニュースレター
- ランキング、利用状況のお知らせ（フィードバック）

39

## 研究者インタビュー

---

- リポジトリに登録経験のある教員に、そのメリットやその研究内容をインタビューし、その内容をニュースレターやホームページで紹介する一連の取り組み
- 事前準備が必要！
  - 執筆論文の情報、投稿誌の著作権の許諾状況は調べておこう
  - できれば、先生のホームページや論文にも目を通すと話が弾む

40

## 研究者インタビュー

熊本大学附属図書館 研究者インタビュー  
熊本大学学術リポジトリ 研究者インタビューのページです。

熊本大学学術リポジトリ1万件突破 記念インタビュー 富永昌人先生(大学院自然科学研究科(工学系・大学院))

2012/07/09(月) 11:06:51 | 研究者インタビュー | トラックバック(0) | コメント(0)

熊本大学研究者情報：富永昌人先生

熊本大学学術リポジトリ公開から6年目を迎えた平成24年5月、リポジトリ登録論文数が1万件に到達しました。

記念すべき1万件日は、大学院自然科学研究科(工学系・大学院)准教授 富永昌人先生の論文「**酵素修飾ナノ構造炭素電極とバイオ燃料電池**」で、平成24年5月19日にリポジトリへ登録したものです。



41

研究者インタビュー用のブログ (熊本大学)

## 研究室訪問

一口よりも、**足と耳**をはたらかせることが大切！

話題は何でもOK：研究のこと、投稿雑誌のこと、図書館のこと、OAのこと、電子ジャーナル高騰、日常の愚痴

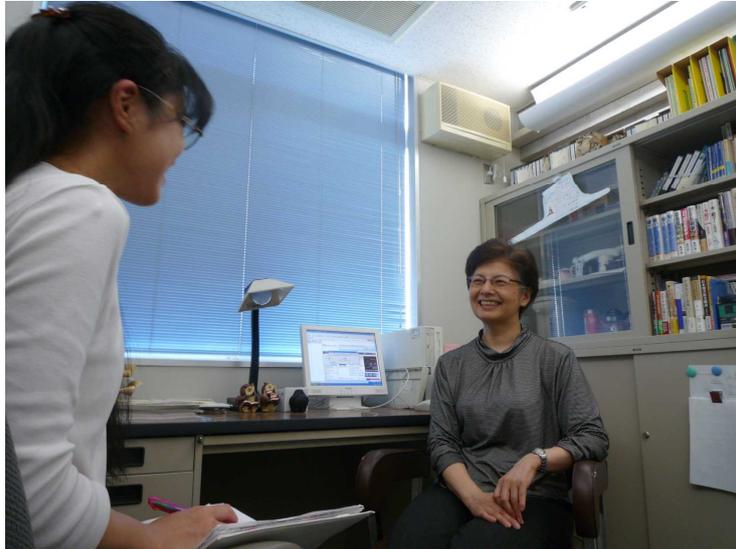
→**図書館活動にとっても有益**

– きっかけは何でも

- ・ 質問が来たら会いに行く
- ・ ファイルが送れない「USBメモリ持って今から伺います」
- ・ 先生が読んでいる雑誌や投稿する雑誌について教えてほしい

42

## 研究室訪問



御用聞き（聖学院大学）

43

HiR ニュースレター

トップページ > HiRニュースレター

**HiRニュースレター**

広島大学の学術研究成果を発信する「広島大学学術情報リポジトリ(HiR)」と、オープン・アクセスに関するニュースをお届けします。PDFファイルでご覧いただけます。

**第10号** 2012年5月

- 学内刊行物(紀要等)が読めます
- 国立国会図書館で学位論文の電子公開スタート!
- 数字でみるHiR 2011
- お知らせ

**第9号** 2012年3月

- ご自身のHPから論文へのリンクをしてみませんか?
- 博士論文を公開しませんか?
- お知らせ

**第8号** 2012年2月

- 1991-2000年度の博士論文を登録中です
- シリーズ・リポジトリFAQ 第4回 博士論文の登録
- 広島大学パテントデー開催
- オープン・アクセス・ジャーナルについて

同様の話題でも視点を変え多面的多角的に紹介（広島大学）

44



【開会挨拶】佐藤正樹 (広島大学図書館長)  
 【講演】「学術論文の広島大学学術情報リポジトリへの登録について」  
 石井道悦 (広島大学副図書館長)  
 【講演】「学術論文と知財」  
 末次憲一郎 (広島大学産学・地域連携センター 知的財産企画部門長)  
 【講演】「安心して公開できる論文を書くために知っておきたい著作権」  
 黒澤節男 (元九州大学大学院教授)



末次知的財産  
企画部門長



黒澤節男氏プロフィール  
 1971-83年 文化庁著作権課  
 1983-95年 広島大学図書館事務部長等を歴任  
 1997年 九州芸術工科大学教授  
 2003年 九州大学大学院芸術工学研究院教授  
 2005年～ 九州大学附属図書館研究開発室特別研究員  
 2007年～ 広島大学図書館リポジトリアドバイザー  
 「Q&Aで学ぶ図書館の著作権基礎知識」  
 (太田出版)他著書多数



セミナーの資料は、  
[http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/topics/e\\_semi2011.html](http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/topics/e_semi2011.html)  
 に掲載しています。

参考：  
 黒澤節男「機関リポジトリと著作権 Q&A」  
<http://e.lib.hiroshima-u.ac.jp/00023065>

**シリーズ・リポジトリFAQ 第3回 紀要論文の登録**

リポジトリでは、雑誌論文・学内紀要・報告書・学位論文など、多様な種類の学術成果を公開しています。図書館では、これらのコンテンツ数を拡充し、より多くの方に役立ていただくため、先生方に論文等のご提供をお願いしています。ここではリポジトリ業務について寄せられたご質問とその答えを掲載いたします。

**Q:** 学内の研究紀要をリポジトリで公開しようと考えています。どのような手続きをすればよいですか？



**A:** まず、著作権の帰属先をご確認下さい。  
 著作権が論文の各著者にある場合、各著者の同意をお取りいただき、その上でリポジトリへの登録同意書を代表者様名義でご提出下さい。様式はリポジトリのホームページにございます。今後、リポジトリに登録することができるよう紀要の投稿規程を改定することをお勧めします。  
 著作権が紀要の編集委員会（または学部）にある場合、リポジトリへの登録同意書を代表者様名義でご提出下さい。紀要の投稿規程には、掲載論文を本学リポジトリにおいて無償で電子公開する旨を明記していただくと、なお良いと思います。  
 投稿規程の文例や著作権の詳しい解説は、上記の黒澤節男氏著「機関リポジトリと著作権 Q&A」の28-30をご覧ください。

45

# フィードバック

日頃より附属図書館の事業にご協力頂きまして誠にありがとうございます。

附属図書館では、「兵庫教育大学 機関リポジトリ」に著作を提供下さったみなさまへ、月1回、閲覧状況をお知らせしています。

- ・ 以下は、文献ごとのドメイン別被閲覧回数です。 .edu(米国教育機関)から何回、 .hyogo-u.ac.jp(学内)から何回、といった内容になります。
- ・ 来月以降こうした通知が不要であれば、お手数ですが、本メールをそのままご返送下さい。

【2012年6月文献別被閲覧回数】

論文名：食糧で鶏を捕まえる：リポジトリ章の根営業活動報告  
 12ダウンロード:com  
 2ダウンロード:その他  
 1ダウンロード:auhw.ac.jp  
 1ダウンロード:hokudai.ac.jp  
 1ダウンロード:osaka-u.ac.jp  
 合計:17

46

**著者単位の統計メール配信機能 (兵庫教育大学)**

## 広報でめざすこと

- 自然と集まるコンテンツ
  - 目指せ、セルフ・アーカイブ?!  
大学、学術情報の流れの一部に。
- 継続できる学内体制、学内理解
  - 「大学の活動」としての位置づけを。
- ついでに…図書館活動の広がり。
  - 館から外へ。



47

## 将来に向けて

- 大きな目的は、機関（大学）のミッションの実現
- 教育・研究支援のコンサルティング
  - 学術コミュニケーションの変革に向けた協働
  - 投稿先についての相談・APC問題
  - 情報リテラシー（オーダーメイド講習会）
  - 学習（学修）支援、教材作り

リポジトリは  
一つのきっかけであり  
チャンスである

48

## さいごに

### － 担当者の思いがリポジトリを育てる・・・という一つの例

- ・東北学院大学学術情報リポジトリ：JAIRO Cloudで2014年03月10日テスト運用開始、2014年04月01日日本稼働開始、2014年05月22日にリポジトリ登録説明会実施
- ・東北学院大学・佐藤恵さんのFacebook（2014/7/25）（ご本人の許諾をいただいて掲載しています／下線：森）

平成26年度「地(知)の拠点整備事業」(大学CoC事業)に採択されたとの嬉しいニュース。担当のみなさまが長いこと積み重ねられた努力が実ったのだなあと思いました。本当にお疲れさまでした！（選定委員長所見によれば、今年度の採択率は約10倍だったとか。。）  
 「地域共生教育による持続的な「ひと」づくり」「まち」づくり」というテーマで図書館ができることってなんだろう、とぼんやり考えていたら、地域と大学が繋がるための研究成果発信、がひとつのキーワードなのかも、と。大学が地域の知の拠点となるためには、大学の教育研究志向の可視化は不可欠。そこでリポジトリを活用できないかなと思ったり。  
 特に本学は震災後になされた地域密着型の研究成果がたくさんあるけれど、集約する枠組みがなかったために学内に点在していて、発信方法もバラバラなように思う。各種シンポジウムの資料にもいいものがたくさんある。そんなコンテンツをリポジトリに集約して積極的に学外に発信していけたら、地域と学びが繋がっていくのではないかな。そして、地域に育まれた学生の学びの成果もリポジトリに収録できたら。  
<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/info/top/140725-1.html>

リポジトリありきじゃなくて、大学ができること→そのために図書館ができること→リポジトリの活用！という発想がすてき

49

## さいごに

### － 担当者の思いがリポジトリを育てる・・・という一つの例



東北学院大学学術情報リポジトリ  
Tohoku Gakuin University Repository for Academic Information

Information  
 2014年06月10日 リポジトリ登録特長資料を公開しました。詳しくはこちら  
 2014年04月01日 本稼働を開始しました！  
 2014年04月01日 新着コンテンツの登録情報発信を開始しました（詳しくは、  
 2014年02月04日 大学ホームページ上で検索、2014年 04月 17日 09:30  
 2014年03月10日 テスト運用を開始しました。

Contents  
 トップ | ログイン  
 新着  
 検索履歴  
 本学検索

language: インタラクティブリスト 印刷  
 本学行政紀要・法務部  
 オンラインはありませぬ

本学は元々、入学生の9割が東北出身者というまさに地域に育まれた大学です。震災後はより地域に密着した「東北学院ならではの」研究が増えているのに見えにくい、それを可視化すれば、より多くの層に届けることができるはずなのに、とものすごくもやもやしていたので...（併せて研究者の周辺領域やバックグラウンドも業績データベースで可視化したい...  
 図書館が知識の蓄積のみならず研究成果を発信することによって、地域と学生・教職員を繋ぐハブ的役割を担い、知の拠点となれたらいいなと思います。

「特色のある研究成果」は大学の財産であると同時に、地域の財産でもあるのかなあと感じています。リポジトリがその大学「ならではの」をあらわすツールとして、シンポジウムや出版物など、大学の研究成果発信活動における様々な場面で、リポジトリもセットで活用してもらえたらなあと思います。こういう思いを、他大学のリポジトリご担当のかたと共有できるのはとっても嬉しいので、私のつたない表現でよければ、どうぞご活用ください！

皆さんは、リポジトリにどんな思いを込めますか？

50